

第62回全国七大学総合体育大会

競技要項

競技名 卓球

令和 5 年 7 月 21 日

1、大会名称	第62回全国七大学総合体育大会 の部
2、主催	北海道大学体育会、東北大学学友会体育部、東京大学運動会、 名古屋大学体育会、京都大学体育会、大阪大学体育会、九州大学体育総務委員会
3、主管	東京大学運動会卓球部
4、参加大学	北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学
5、大会期間	令和5年9月6日(水)–令和5年9月10日(日)
6、開催会場	東京大学本郷キャンパス御殿下記念館
7、参加資格	<p>1 競技種目に参加する競技団体に所属する学生は、エントリー書類に必要事項が記載されていなければならない。</p> <p>2 団体戦に出場する選手は、本大会に参加する大学に所属し、当該大学に入学してから4年以内の学生でなければならない。但し、競技種目会議が認め、実行委員会が定める期限までに当該競技種目の種目委員から実行委員会へ報告があった場合、この限りではない。(個人戦の場合、各大学の大学院生、OB・OGの出場も認める。)</p> <p>3 非七大学の学生の参加は実行委員会の許可を要する。</p> <p>4 ベンチの人数の枠は設けない。</p> <p>5 参加選手は各校スポーツ保険などに加入しなければならない。</p> <p>6 前項の規定にかかわらず、実行委員会は、競技種目会議が行った正式種目の本戦に出場する選手の認定について、これが不相当と判断した場合、運営委員会の議決を経て取り消すことができる。</p>
8、大会形式	男女団体戦、男女個人戦によって行われる。
9、試合形式	<p>1 団体戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男子は6単1複、女子は4単1複で行う。 ・試合は全て5ゲームズマッチで行う。 <p>2 個人戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女シングルス、ダブルスを行う。 ・試合は全て5ゲームズマッチで行う。

10、競技規則	<p>現行の日本卓球ルール及び同細則を適用する。なお、特別事項は下記の通り。</p> <p>(1) 男子団体戦では、ダブルスを組む者の一方しか1番、2番、3番に出場できない。また、女子団体戦では、ダブルスを組む者の一方しか1番、2番に出場できない。なお、女子団体戦についてはチームの人数が3人の場合、1番を、2人の場合、1番と2番を棄権とする。</p> <p>(2) タイムアウト制度は採用しない。</p> <p>(3) 審判は団体戦は相互審判、個人戦は敗者審判（第一試合の審判はコールで呼び出しをする）で行う。</p> <p>(4) 団体戦のオーダーは本部に提出したものを正とし、間違ったオーダーを提出、または交換した場合にはそのチームがその試合において失格するものとする。</p> <p>(5) 団体戦は勝敗が決した時点で試合をやめる。</p>
11、競技進行予定	<p>1日目 男子シングルス・女子シングルス（進められるところまで）</p> <p>2日目 男子シングルス・女子シングルス（決勝まで）男子ダブルス・女子ダブルス（進められるところまで）</p> <p>3日目 男子ダブルス・女子ダブルス（決勝まで）男子団体戦・女子団体戦（進められるところまで）</p> <p>4日目 男子団体戦・女子団体戦（第4試合まで）</p> <p>5日目 男子団体戦・女子団体戦（第7試合まで）</p>
12、総合順位決定法	<p>(1) リーグ戦の試合得点が高い順に順位を決定する。 （勝：2点 負：1点 不戦敗：0点）</p> <p>(2) 同点校が2校以上あった場合は、同点校間のリーグ戦における試合成績を抽出して順位を決定する。</p> <p>(3) 総合得点は、各種目の順位を以下の得点表を用いて得点に換算し、それを大学ごとに総計したものとする。但し、表の該当団体とは、当該種目に該当し、体育会に所属する運動部（以下、運動部とする）を有する大学数とする。また、不参加の場合は0点とする。</p> <p>1位：10点 2位：8点 3位：6点 4位：4点 5位：3点 6位：2点 7位：1点</p> <p>(4) 運動部は、その部員数が当該競技種目の競技細則に定める競技の成立に必要な人数を満たさない場合は、参加不能団体とする。また、運動部が特段の事情により参加できない場合、委員長会議がこれを認めたものについても同様とする。</p> <p>(5) 不慮の事態により、正式種目の順位を決定することができない場合、委員長会議が認めるものについては、当該正式種目に参加した運動部の所属する大学の得点を1点とする。</p>
13、表彰	<p>(1) 団体成績第1位から第3位までの大学に賞状を授与する。第1位の大学には優勝杯を授与する。（*）</p> <p>(2) シングルス、ダブルス成績第1位から第3位までの選手に賞状を授与する。</p> <p>(3) 各賞の選考基準は以下のものである。</p> <p>イ 敢闘賞…団体戦、個人戦を通じて最も活躍のめざましかったもの （男女各1名）</p> <p>ロ 新人賞…令和4年度入学で団体戦、個人戦を通じて最も活躍のめざましかったもの（男女各1名）</p> <p>ハ 殊勲賞…個人戦の活躍がめざましかったもの （団体戦には出場していない1名）</p> <p>ニ ゼッケン大賞…会場の目をくぎづけにするようなゼッケンもしくはコスチューム、パフォーマンスをしたもの（1名）</p>
14、MVP決定方法	<p>各大学の七大戦委員の話し合いによって決定する。</p>